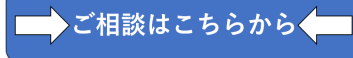


「社員の当事者意識を高めたい！」というご相談をよく頂きます。本シートを使うと、社員の“当事者意識レベル”を測定できます。また、どこが高く、どこが低いのかも明確になり、施策を実施しやすくなるでしょう。

診断の基準 5：よくあてはまる～1：全くあてはまらない

No.	内容	自己診断	他者診断
1	他人のせいで何か問題がおこった時に、その人を責めてしまうことがある	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
2	自分以外の誰かに、または所属するチームで困ることが起きそうなのに何もしないことがある	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
3	仕事で何か失敗した時、言い訳を事前に考えてしまう	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
4	「これは自分の仕事ではない」と考え、誰かがやってくれるまで待ってしまうことがある	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
5	自分の目標に対して、やる前から「この目標は達成できない」と考えてしまうことがある	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
6	仕事は言われたことを言われた通りにやればいい、と思ってしまうことがある	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
7	時間が経てば状況が改善するかもと、何もせずに黙って様子を見ていたことがある	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
8	他人が困っていても、自分も大変だからと声をかけなかったことがある	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
9	うまくいかなかった理由や原因は、上司の指示や商品、外部環境のせいだと考えることが多い	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
10	どちらかという、愚痴が多いほうである	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
合計点を計算して記入してください⇒			

自己診断だけでなく、他者にも診断してもらうとより客観的に診断できます。



【結果の見方】

- 10～19点 当事者意識が高い ⇒ 良い状態です。今の意識をキープしましょう
- 20～29点 当事者意識は普通 ⇒ 点数が低いところを中心に改善しましょう
- 30～39点 当事者意識が低め ⇒ 優先順位を決めて改善に取り組みましょう
- 40～50点 当事者意識がない ⇒ 早急に改善しないと、信頼を失うでしょう

当事者意識は、必ずしも本人だけの責任ではなく、組織風土や上司の行動が原因となっている場合もあります。組織全体で当事者意識が低い場合にはNo. 1～10の原因を上司が作っていないかも確認しましょう。